

第4回 相談部会 報告書

令8年1月27日

開催日時	令和8年1月27日(火) 13:30～	場所	ふれあい福祉センター4階会議室4
部会員	相談支援室カラフル、ボスケット、稲荷山医療福祉センター、稲荷山太陽の園、いなりやま福祉会相談支援事業所、けいあいエール、坂城町社会福祉会指定相談支援事業所、しょう相談支援センター、相談支援事業所みらい、地域生活支援センターCoCoながの、ろぜっと、相談支援事業所ちくま、相談支援事業所Fit、ブルースター、長野市障害者地域移行コーディネートセンター、ほっと、千曲・坂城障がい者(児)基幹相談支援センター、坂城町福祉健康課、千曲市福祉課		
			出席 27名

(1) 報告事項、ほか

- ・12/1付でグループホームウィルホーム稲荷山が開所。
- ・12/13に自立支援協議会全体会が開催され、大勢の方に参加いただいた。事業所紹介やトークショー、販売等盛り上がった。
- ・第5回主任相談支援専門員連絡会が開催された。各種研修や相談員育成について、地域づくりのためにどう連携するかなど検討された。
- ・県自立支援協議会主催の機能強化会議に出席し、地域生活支援拠点等について話し合った。

(2) 協議事項 および 内容

- 次年度(R8年度)の相談部会について
- ・事務局より来年度の自立支援協議会の体制見直しについて説明。
 - ・説明を踏まえた上で、来年度の相談部会の活動内容や取り組みたいこと等についてグループに分かれ意見を出し合った。
- 【Aグループ】
- ・部会に参加することで得られる情報もあるため、最低でも3～4回は開催した方がよい。
 - ・一人で運営する事業所も多いことから、GSVの実施について研究してみることはいかがか。
- 【Bグループ】
- ・部会は4回以上の開催してほしい。それより少なくなると参加自体が億劫になってしまう。相談支援専門員の息抜き場として茶話会のような開催でもいいのでは。
 - ・他部会への参加が負担になることもあるため、参加は自由にしてみてもどうか。
- 【Cグループ】
- ・相談員同士、顔の見える関係を継続することは大切。情報共有や事例検討が自らの業務の振り返りにもなり、いま相談支援専門員をしている人たちが止めないような取組が、相談員の確保にもつながる。
 - ・個別のケース検討を行うことで、個別の課題が地域課題に繋がっていく。
- 【Dグループ】
- ・相談支援事業所の経営の安定のためにどうすればよいか、報酬や加算の取り方を研究する。
 - ・意思決定支援に関する研修を行う。
- 来年度の執行部会について
- ・部会長…ボスケット、副部会長…カラフル、副部会長…主任相談支援専門員より1名

(3) 結果

来年度の部会の開催方法、体制等について協議を行った。本日の議論をもとに、執行部会にて詳細を検討する。

地域連絡会で検討したい課題 []

(4) その他（お知らせ・次回開催日など）

- ・さんきゅーあーと展開催中